

馬場 インカレ2冠

「狙い通り満足」

ノルディック 30キロクラシカル・10キロフリー

全日本学生スキー選
手権 2月21日〜3
月5日、長野県・お
んたけ2240スキ
ー場、野沢温泉スキ
ー場、野沢温泉スキ
ー場

野沢温泉スキー場の南
原クロスカントリーコー
スで行われたノルディッ
ク種目の男子30キロクラ
シカルと10キロフリーの部に
出場した馬場直人(経営
3・中野立志館高)が両
種目で優勝した。学生日
本一を決めるインカレで
2冠を達成した。
30キロクラシカルでは2
位と約1分差の1時間26
分5秒5で、10キロフリー
馬場 30キロクラシカル

では約18秒差の21分38秒
6でゴール。
馬場は大会を振り返り
「2冠を狙っていたので
とてもうれしい。特に30
キロクラシカルは自分の思
い描いたレースを展開す
ることができ、中盤から
逃げ切りで優勝すること
ができた。10キロフリーは
いつも通りの滑りを意識
したことが、結果につな
がった」と話した。冬季
アジア大会などがあり、
インカレに出場するのは
今回が初めてだった。
「結果を残すことができ
……………
力強くストックを操る
馬場 30キロクラシカル

加している馬場は大会直
後、ワールドカップに出
場するため、北欧遠征に
出発した。
精神的に海外での試合
に出場し、さらなる成長
を目指す彼の今後の活躍
に期待したい。
(白鳥順也・経済1)

女子SG 山本が3位入賞

女子スノーパード大回転
(SG)では山本榛奈
(文2・中野立志館高)
が1分24秒64のタイムで
3位入賞を果たした。
山本は期間中、気持ち
を切らさないようにする
ことが難しかったと語
り、「恐怖心が少しあっ
たことが悔やまれる。そ
れを乗り越えられれば、
……………
もっと上を目指せると感
じた」と悔しさをだけな
く、手応えを得た様子だ
った。
来シーズンに向けて
「得意種目だけでなく、
苦手な種目でも上位に食
い込めるように、練習を
頑張りたい」と意気込み
を語った。
(白鳥)

女子シングルス 安藤が連覇 第1シードの貫禄

東京卓球選手権 3
月6〜11日、渋谷区
・東京体育館

安藤みなみ(商3・慶
誠高)が女子シングルス
で連覇を達成した。
全国各地から252人
が参加した今大会。第1
シードの安藤は初戦とな
った4回戦をストレート
勝ち。続く試合もラリー
戦で主導権を握り、競り
勝っていく。準決勝では
……………
優勝の相手は同学年の
森園美月選手(サンリ
ツ)。安藤は「準決勝で
冷静になったので、決勝
は落ち着いて集中するこ
とができ」と振り返るも
「優勝したいと思って
いたが本当にできるとは
思わなかったのびびっく
りしている」と振り返る
も



フォアハンドでラリー
の主導権を握った安藤
 準々決勝

とができた」と、相手を
終始圧倒し、ストレート
勝ちした。
「優勝したいと思って
いたが本当にできるとは
思わなかったのびびっく
りしている」と振り返る
も
5月から始まる春のリ
ーグ戦に向けては「キャ
プテンとして、絶対に悔
いの残らないようにした
い」と意気込んだ。
(高橋玲央・法2 写真
も)

大西と氣田 優勝に貢献

デンソーカップチャ
レンジサッカー熊本
大会 2月16〜18
日、熊本県・大津町
運動公園

全日本大学選抜と各地
域選抜の計8チームがト
ーナメント方式で対戦す
る大学サッカーの「地域
別対抗戦」。DF小林岩
魚(法3・甲府第一高)、
DF大西拓真(商3・
砂川高)、MF氣田亮真



左から小林、氣田、大西

(文2・千葉敬愛高)が
出場した関東B・北信越
場にとどまったが、随所
で存在感を發揮した。
大西は「即席チームだ
ったので、コミュニケーション
を合わせたりするのが難
しかった。自分の色も出
しつつ、チームのために
プレーすることができ
た」と振り返り、新シ
ーズンに向け、「専大で結
果を出すのが一番大
事。そのために自分がチ
ームにできることを10
0%の力でやるだけ」と
力強く意気込んだ。
(藤森)

選抜が優勝、FW岸晃司
(経営2・川崎北高)が
出場した関東A選抜が準
優勝となった。
抜群のリーダーシッ
プで守備陣を統率し、大会
ベストイレブンに選出さ
れた大西と、3試合で3
ゴールを記録した氣田は
優勝に大きく貢献。大会
直前に負傷した小林は、
出場機会がなかったもの
の、ベンチからチームを
支えた。岸も1試合の出
場にとどまったが、随所
で存在感を發揮した。



専大スポーツ

No. 383

大会結果 予定は体育会ホームページ「専大ホームページ」から閲覧いただけます。専大スポーツ編集部 web (http://sensupo.web.fc2.com) /専大大会結果を配信いたします。

500メートル石川 自己ベストで準優勝

世界ジュニアスピー
ドスケート選手権 3
月9〜11日、米國
・ソルトレークシテ
ー

男子500メートルで石川斗



獲得した銀メダルを下げ、胸を張る石川

来(経営1・白樺学園
高)が自己ベストとなる
34秒87のタイムで準優勝
した。
ジュニア記録である34
秒50を上回ることを目標
に今大会に臨んだ石川。
……………
「得意種目だけでなく、
苦手な種目でも上位に食
い込めるように、練習を
頑張りたい」と意気込み
を語った。
(白鳥)

レースを振り返り、「世
界大会ということもあ
り、いつもと会場の雰
気の違い、少し萎縮して
しまった。力みや焦りか
らフォームにバラつきが
出てしまったので、自分
の滑りには納得してい
ない」と悔しさをにじませ
た。
一方で、今まで力を入
れてきたというウエート
トレーニングの成果には
手応えを感じているよう
で、1000メートルの通過タイ
ムはこれまでの国内大会
よりも上がった。
石川は来シーズンに向
けて「目標は国内のリ

平昌五輪

スキーハーフパイプ 小野塚さん5位 スケート1万メートル 土屋さん10位

平昌冬季五輪のフリー
スタイルスキー女子ハ
ーフパイプ(2月20日決
勝、フエニックス・ス
ノーパーク)でスキー部
Gの小野塚彩那さん(平
22商、石打丸山スキー
クラブ)が5位に入賞した。
前回のソチ冬季五輪銅
メダリストで、2017
年は世界選手権を制した
小野塚さんは、予選2回
……………
で、しっかりと体力をつ
けていきたい」と目標を
掲げた。(久保信裕・文
2 写真も)

で大技の横2回転半を鮮
やかに成功させると、そ
の後も横2回転の連続技
などを決め、順調に演技
を続けた。しかし、最後
に再び跳んだ横2回転は
回転が足りず、着地が乱
れる痛恨のミスに思わず
天を仰いだ。82・20点と
得点を伸ばしたものの2
大会連続の表彰台には届
かなかった。

昨年12月のW杯で転倒
し、約1カ月の離脱を余
儀なくされた中で挑んだ
五輪。やはり「まだ恐怖
心があった」と語るが、
それでも「練習してきた
ことは出せたし、ベスト
は尽くせたい」と涙なが
らも達成感をのぞかせ
た。
2度目の夢舞台を終
え、「オリンピックはオ
リンピックだなんて感じ
はありませんね」と笑顔で
話した。
スピードスケート男子
1万メートル(2月15日、江陵

(藤森峻祐・文2)